

第7章 事後調査の方針

本事業の実施にあたっては、表 7.1 に示す内容について、事後調査を行う計画としている。

施設の利用については、道路交通騒音・振動・交通量及びコンサート・花火の騒音を事業計画地周辺において調査する。また、施設から発生する廃棄物の発生量・リサイクル量・処分量及び施設での空調設備等の稼働や施設関連車両の走行に伴う CO₂排出量について集計を行う。なお、シャトルバスについては、直通シャトルバスの年間実績に基づき、各地ターミナルと事業計画地間を走行する直通シャトルバスの二酸化炭素排出量を算定する。

工事着手前に、事業計画地及びその周辺における鳥類の飛来状況、陸域動物（重要種）の生息状況、陸域植物（重要種）の生育状況について確認する。

工事中については、建設機械の稼働状況・工事関連車両の台数を把握するとともに、建設作業騒音・振動及び道路交通騒音・振動・交通量に関して、事業計画地及びその周辺において調査を行う。また、工事排水、工事中のし尿を公共用水域（海域）に排出する期間において、事業計画地内で水質の調査を行う。さらに、工事により発生する産業廃棄物（建設汚泥を除く）・残土・建設汚泥の発生量・有効利用量・処分量について集計を行う。

なお、事後調査の結果、本事業により顕著な環境影響があると認められた場合には、関係機関と協議の上、適切な対策等を検討、実施する。

事後調査の詳細については、今後、関係機関と協議の上、決定する。

表 7.1 事後調査計画

調査項目		調査時期、期間及び頻度	調査地点及び範囲
施設の利用	騒音・振動 道路交通騒音・振動・交通量	供用後の平日・休日 各 1 日	No. 2 ～No. 5 地点の 4 地点 (事業計画地周辺)
	騒音 コンサート・花火に伴う騒音	供用後のコンサート・花火の開催時 各 1 回 年間の計画等を踏まえて適切な日を選定する。	No. 6 地点及び風による音の伝搬を考慮した 1 地点 (保全施設に近接する地点) の計 2 地点 ただし、計画内容に応じて地点位置を変更する場合がある。
	廃棄物 種類別発生量・排出量 (有効利用量・処分量)	供用後の 1 年間	事業計画地内
	地球環境 CO ₂ 排出量 (空調設備等の稼働、施設関連車両の走行)	供用後の 1 年間	事業計画地内及びその周辺
工事前・工事中	陸域動物、陸域植物 鳥類の飛来状況、 動物 (重要種) の生息状況、 植物 (重要種) の生育状況	工事着手前	事業計画地及びその周辺
	建設機械の稼働状況・工事関連車両の台数	工事期間中	事業計画地内
	水質 工事排水・工事中のし尿	工事期間中 [工事排水・し尿を公共用水域 (海域) へ排出する期間] 1 回 / 月	雨水管に接続する前の地点 (事業計画地内)
	騒音・振動 建設作業騒音・振動	工事最盛期平日 1 日 工事実施時間帯	No. 1 地点 (事業敷地境界上) No. 6 地点 (事業計画地周辺 (舞洲))
	騒音・振動 道路交通騒音・振動・交通量	工事最盛期平日 1 日 工事実施時間帯	No. 2 地点、No. 3 地点、No. 5 地点の 3 地点 (事業計画地周辺)
	廃棄物・残土 種類別発生量・排出量 (有効利用量・処分量)	工事期間中	事業計画地内

(注) 工事最盛期の時期は、工事の進捗状況を踏まえて最終的に決定する。